

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001を2003年2月19日に取得して、継続更新している			3.9			6	7				12	13.3	14	15										
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境方針を自社ホームページに公開している											12.6													
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	今後の検討課題							7.2						13											
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	今後の検討課題											12.2	13	14	15										
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則62条⑦にて、「業務に関し不当に金品その他を受け取り、または与えたとき」は【制裁休職・解雇】の対象とすることを明記している。																					16	16.5		
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	行動方針の6番に定め、社内教育を実施																						16		
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	職務発明等取扱い規程を定めている。親会社(ダイセル)の知財Grと協力し取り組んでいる										8.2	9													
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	個人情報情報が漏洩しないように鍵のかかる書庫にて施錠管理を行っている																						16		
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	顧客の要求に応じて、原料が紛争鉱物を取り扱っていない事を確認して、証明している																							16	
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応 (ハラスメント・汚職・贈収賄防止) について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	今後の検討課題					5				8		10		12	13	14	15	16	17						
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	SDSやRoHS指令等、対応している。必要に応じて、厚生労働大臣登録機関から、食品衛生法による試験検査成績書を取得し、顧客に提出している。			3.9									12.4												
29		【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001を2003年2月19日に取得し、継続更新している。ISO文書において、品質マネジメントマニュアルの品質保証体系図にて適切に運用している。																								
30		【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	フルーツキャップ以外でもグリーンPE製品を用いた製品の開発、設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15									
31		【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	環境負荷低減製品を開発、設計を実施		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	小布施ライオンズクラブの活動(交通安全運動に伴う、通学路の見守り活動等)に参加している				4						9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地元:小布施ミニマラソンの給水場所の提供・協力。 ダイドー緑の募金、コカ・コーラ子ども食堂応援の自動販売機を社内食堂に設置、売り上げの一部が寄付されている。				4								11				14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	小布施町の空き物件を倉庫として賃貸契約している										8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	基本理念、行動方針、運営方針を社内複数個所に掲示している 部別目標・行動計画の進捗を会議で報告・確認している										8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	「行動規範の実践確認表」(年1回実施)を用い、上長が確認を行っている																			16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	CSRのしくみ(ダイセルグループ)として 環境管理責任者、衛生班を置き、体制を整えている。																			16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	毎年1回、株主総会、顧客アンケートを実施している。																			16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ISO14001の、環境と安全と健康の総合アセスメント規程に則ってアセスメントを実施し危険個所の抽出を事前に行っている																			16	
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	「ダイセルグループCSR調達ガイドライン」に基づいて取り組んでいる																			16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	今後の検討課題											9		11			13 13.1			16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	今後の検討課題										8	9								17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
 - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)